

◆サイバー防犯に学生59人

県警は1日、サイバー防犯ボランティアとして活動する県内の大学生に団体員証を交付した。2022年度は熊本学園大、県立大、東海大、崇城大の59人が参加し、インターネット上で児童ポルノなど有害情報を探したり、中高生にネットの危険性を教えたりする。県警本部であった交付式で、高光純司生活安全部長が各大学の代表者らに団体員証を手渡した。熊本学園大4年の福田想真さん(22)は「高齢者や中高生が被害者となるサイバー犯罪を未然に防ぐため、積極的に活動したい」と述べた。

サイバー防犯ボランティアの
団体員証を受け取る学生ら
= 1日、県警本部